

中和消臭装置 スツキリさん

プロホンポ

目次

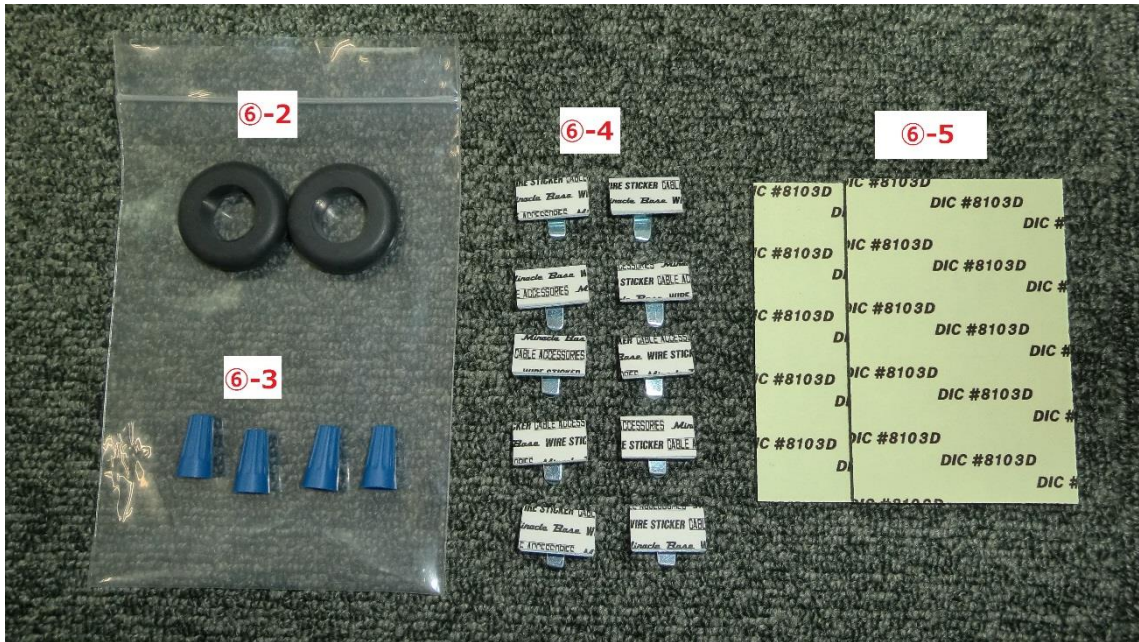
1. セット内容 P 2~3
2. 取付け方法 P 4~9
3. 調整作業 P 10~11
4. 試運転作業 P 11~12
5. 実作業運転 P 12

1,セット内容

- ① 脱臭剤噴霧装置本体((11)脱臭剤吸上ホース(別途付属))・・・1 台
(11)脱臭剤吸上ホースは、①脱臭剤噴霧装置本体にセットしていません)
- ② スイッチボックス(両面シート付は⑥の中に有)・・・1 セット
- ③ 電気配線コード[※](20m)・・・1 本
- ④ 20ℓポリタンク(水専用)・・・1 個
- ⑤ 脱臭剤原液(1ℓ)・・・1 本
- ⑥ その他組立用品
 - ⑥ -1 28mm ホルソー・・・1 個
 - ⑥ -2 グロメット (黒ゴム)・・・2 個
 - ⑥ -3 ワイヤナットコネクター・・・4 個
 - ⑥ -4 配線止め金具 (粘着式)・・・10 個
 - ⑥ -5 両面シート・・・2 枚



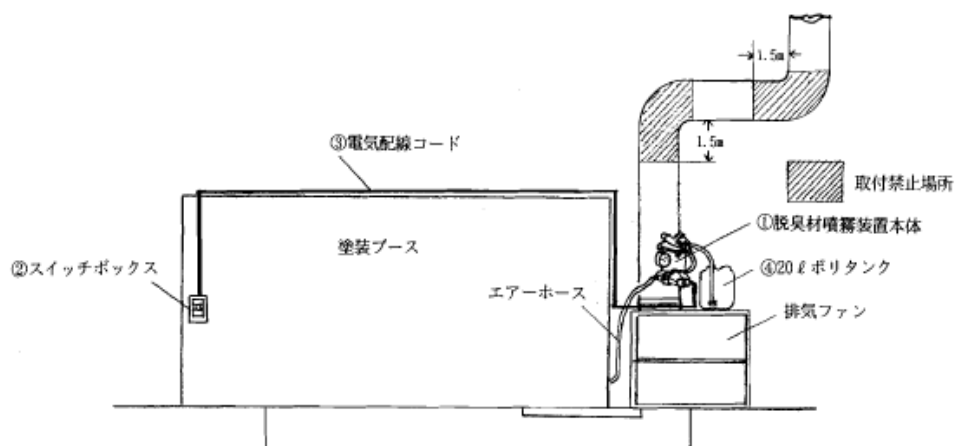
(部品や仕様の変更はございます)



(部品や仕様の変更はございます)

ご注意 . . .

配線及び結線に付きましては、ある程度
組み立てた状態で、入っております。



(上記画像はイメージになります。設置の高さ等は【2,取付け方法】をご確認下さい)

(3)

その他使用工具(予めお客様でご用意ください)

- (1) (電動・充電・エア)ドリル 6.5mm 程度
- (2) カッターナイフ
- (3) ニッパーペンチ
- (4) +ドライバー
- (5) モンキーレンチ

お客様でのご準備(予めお客様でご準備ください)

- (1) ①脱臭剤噴霧装置本体までのエアホース(圧縮空気)、6.5mm 気管ホース用ジョイントが必要で
す。
- (2) ②スイッチボックスには 100V 電源が必要ですので近くのコンセントを確認して
おいて下さい。(必ず 100V をご使用下さい！！電磁弁は 100V 仕様ですの
で、200V を使用すると電磁弁が発火の恐れがあります！！)

2,取付け方法

- 1, まずは、①脱臭剤噴霧装置本体の取付け位置を決めます。
排気ファンから約 1m 位、排出出口側に離れた所で、曲ダクトより 1.5m 手前の
所に④200ポリタンク設置場所も考慮に入れ、ダクト中心に印を付ける。
(穴を開ける為のセンターマーク)

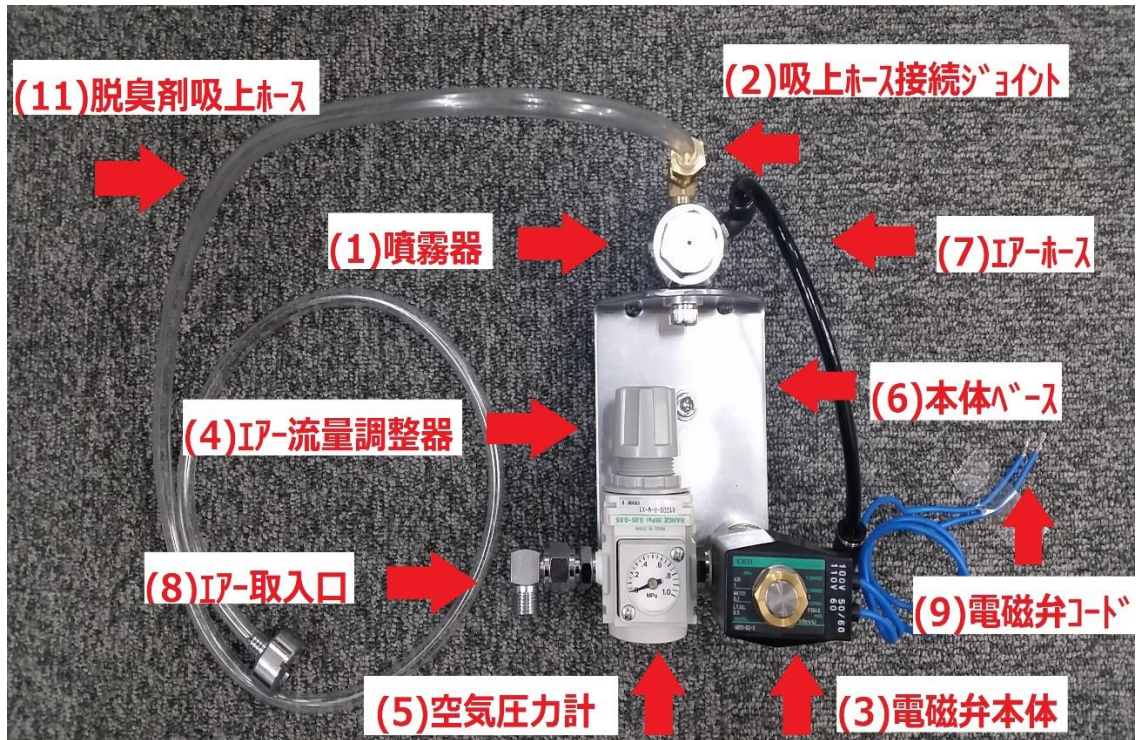
- 【注意】 ●上記条件で曲ダクトに当る場合は、曲ダクトのうしろ直ぐの所に設
置して下さい。(前ページ図参照)
- ①脱臭剤噴霧装置本体の取付け高さは、④200ポリタンクを置く場所が
決まれば、④200ポリタンク下部より約 1m 前後、上に設置して下さい。
(離し過ぎると吸込まなくなり、近すぎると出過ぎる場合があります)
 - 必ず①脱臭剤噴霧装置本体の取付け位置が④200ポリタンク口位置より
低い位置にしないで下さい。

- 2, 上記場所が決まれば、ドリルにセッティングした⑥-1 28mm ホルダーでダクトに 28mm
の穴を開けて下さい。

- 【注意】 ●ドリル作業には十分注意し、高所の場合、足元にご注意ください。

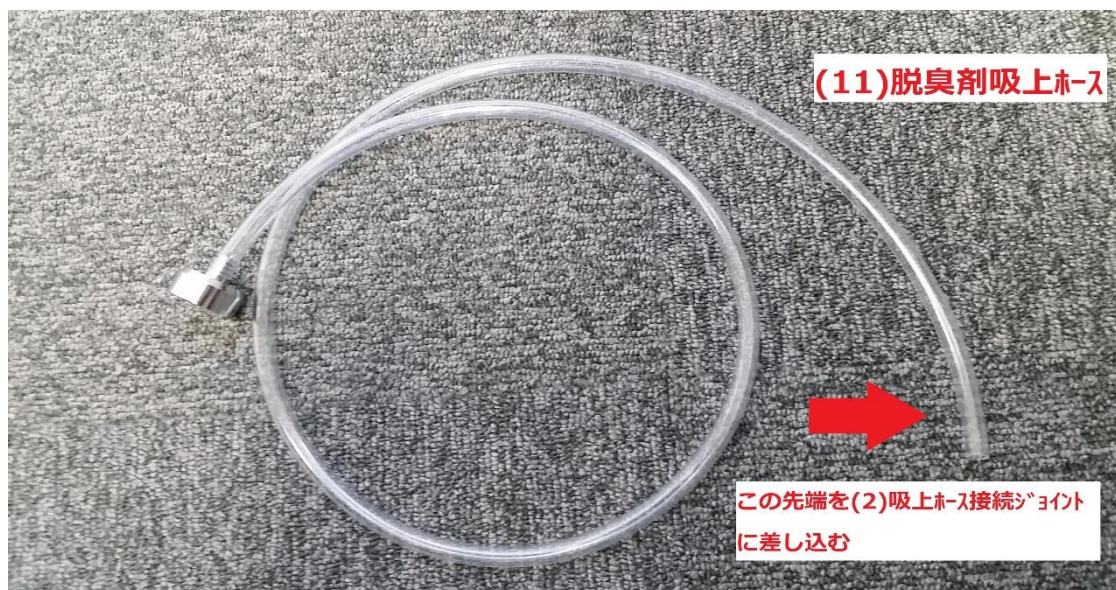
3, 開けた穴に⑥-2 グロスケット(黒ゴム)をはめ込み、しっかりセットして下さい。

【注意】 ●⑥-2 グロスケット(黒ゴム)をはめ込む時、指などをかきしないで下さい。
(開けた穴周りは、大変切れやすくなっています)



(5)

4, ①脱臭剤噴霧装置本体に③電気配線コードを取付け、準備して頂いたエアホースをつなぎ込みます。



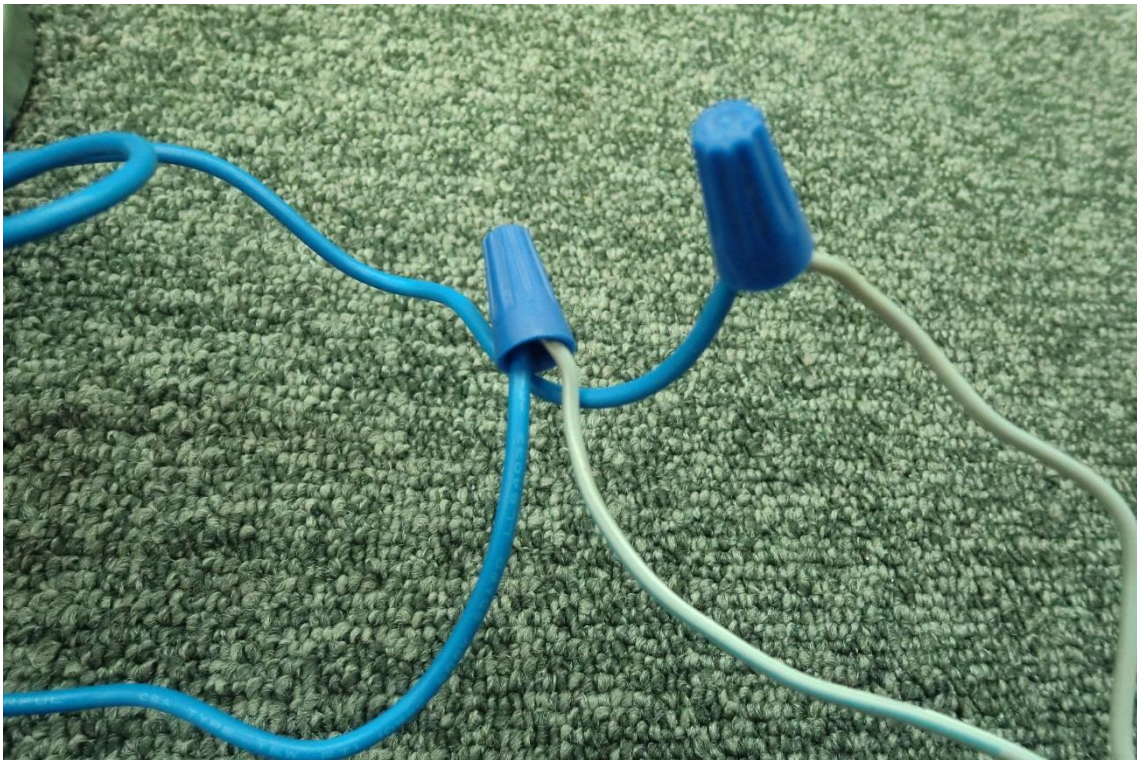
【注意】 ●先に①脱臭剤噴霧装置本体の、(2)吸上ホース接続ジョイントに(11)脱臭剤吸上ホースを差し込み、ナットを締めて下さい。(手締めで構いませんが、少し緩いようでしたらモンキレンチで軽く締め込んで下さい(締め込み過ぎるとホースが潰れて吸い込まなくなるので注意)。

●次に④200ホ^{リタンク}の小口キャップ[°]を外し、キャップ[°]中央の穴に(11)脱臭剤吸上ホースを差し入れてからセットして下さい。

4-1 準備して頂いたエアホースに 6.5mm ウルタンホース用ジョイントを取付け、(8)エア取入口につなぎ、モンキーレンチで締め込んで下さい。

【注意】 ●ここでは、まだ圧縮エアは入れないで下さい。

4-2-1 (3)電磁弁本体に付属する(9)電磁弁コード[°]に、③電気配線コード[°]を⑥-3ワイヤナットコネクターを使用してつなぎ込みます。



(③電気配線コード[°]は色変更有)

4-2-2 (9)電磁弁コード[°]と③電気配線コード[°]の剥き出し導線をまとめて、⑥-3ワイヤナットコネクターに上記写真のように入れ、回すと固定されます。

【注意】 ●③電気配線コードは配線が終わるまで切らないで下さい。また、電線を剥く時はカギをししないで下さい。

5, 準備が出来たら、3 で用意した穴に①脱臭材噴霧装置本体の(1)噴霧器先端の(10)噴出ノズルを入れ、マグネットで固定して下さい。

6, ②スイッチボックスをブースの制御盤近くの場所から便利な場所に設置する為、目安場所を決めて印を付けて下さい。

7, 4 でつないだ③電気配線コードを②スイッチボックスの目安場所まで伸ばし、要所要所には⑥-4 配線止め金具(粘着式)をして固定して下さい。そして、②スイッチボックスまで伸ばした③電気配線コードは少し長めに余裕を取っておきます。

【注意】 ●配線はなるべく高い所で目立たない所を這わして下さい。決して稼働物の付近には配線しないで下さい。

8, ②スイッチボックスに①脱臭剤噴霧装置本体からの③電気配線コードをつなぎ込みます。



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5

- 8-1 ②スイッチボックスから出ている配線コードの端を写真 1,2,3 のようにカッター、ペンチを使い被覆を剥き電線内の導線を出します。
- 8-2 被膜を剥き出した電線内と①脱臭剤噴霧装置本体からの③電気配線コードを 2 本とも⑥-3 ワイヤナットコネクターで結束します。

【注意】 ●差し込んだコードがすぐに抜けないか軽く引っ張ってテストして下さい。

- 9, 完成した②スイッチボックスの裏面に付属の両面シートを張り付け、②スイッチボックスの目安場所に張り付けて下さい。

3,調整作業

- 1, ②スイッチボックスから出ている 100V 用差込みプラグをコンセントに差し込み②スイッチボックスのスイッチを入れます。②スイッチボックスのハロッドランプが点灯するか、ご確認下さい。またその時、タイマーが作動するかご確認下さい。



【【注意】 ●タイマーは 30 分以上回して下さい。実作業で 30 分以内の場合は一度 30 分以上回してから合わせて下さい。

ゼンマイ式タイマーですので直接短い分数(30 分以内)を合わせた場合、誤作動する場合があります。

- 2, 電源を点けたまま、①脱臭剤噴霧装置本体につないだエアホースに圧縮エアを入れて下さい。その時、①脱臭剤噴霧装置本体の(1)噴霧器先端からエアが流れたままの状態となります。(ここでは液剤のセットをしないで下さい)
- 3, 上記の状態①脱臭剤噴霧器装置本体の(5)空気圧力計の指針を **0.15～0.2MPa** に合わせるように(4)エア流量調整器で調整して下さい。

【注意】 ●ここでの空気圧力は、エアが流れている時の圧力となりますので、今後の調整に付きましても、(4)エア流量調整器で調整して下さい。また、噴霧量が多すぎた場合は、ダクトの外の下等から消臭液が漏れてくる場合があります。その場合は使用圧力を下げて調整して下さい。

4, ②スイッチボックスのスイッチを切して下さい。これで、調整作業は終わりです。

【注意】 ●電源と圧縮エアの供給はこのままにしておいて下さい。試運転作業を続けて行います。

4, 試運転作業

1, ④20ℓリタンク容器に 19ℓの水を入れます。そこに⑥脱臭剤原液を 650cc 入れます。

【注意】 ●これで⑥脱臭剤原液が約 30 倍に薄められた事になります。

2, 用意した脱臭剤の入った④20ℓリタンク容器の小口キャップに ①脱臭剤噴霧装置本体につないだ⑤脱臭剤吸上ホースを差し込み、安定の良い場所に設置して下さい。

【注意】 ●④20ℓリタンクは①脱臭剤噴霧装置本体設置場所から、下に約 1m 前後の高さで設置して下さい。(離し過ぎると吸込まなくなり、逆に近すぎると出過ぎる場合があります)また、水を入れている為、約 20kg の重さとなりますので設置場所には十分注意して下さい。

3, 塗装ブースの排気ダクトファンを作動させた後、①脱臭剤噴霧装置本体の ②スイッチボックスのスイッチを入れ、作動を確認して下さい。

4, 排気ダクト外部排出口の臭いのご確認をして下さい。

5, 約 15 分以上作動し、②スイッチボックスのスイッチを切り、塗装ブースの排気ダクトファンを切して下さい。

- 6, 全ての電源が切れている状態で、塗装ブースの排気ダクトファン下部を点検し脱臭液剤が、しみ出していないか確認して下さい。

【注意】 ●しみ出ている場合は、調整作業 3,での空気圧を下げて下さい。
●上記 4,で臭いがまだ気になる場合は、上記 1,希釈を 15~25 倍の希釈で、もう一度ご確認宜しくお願いします。

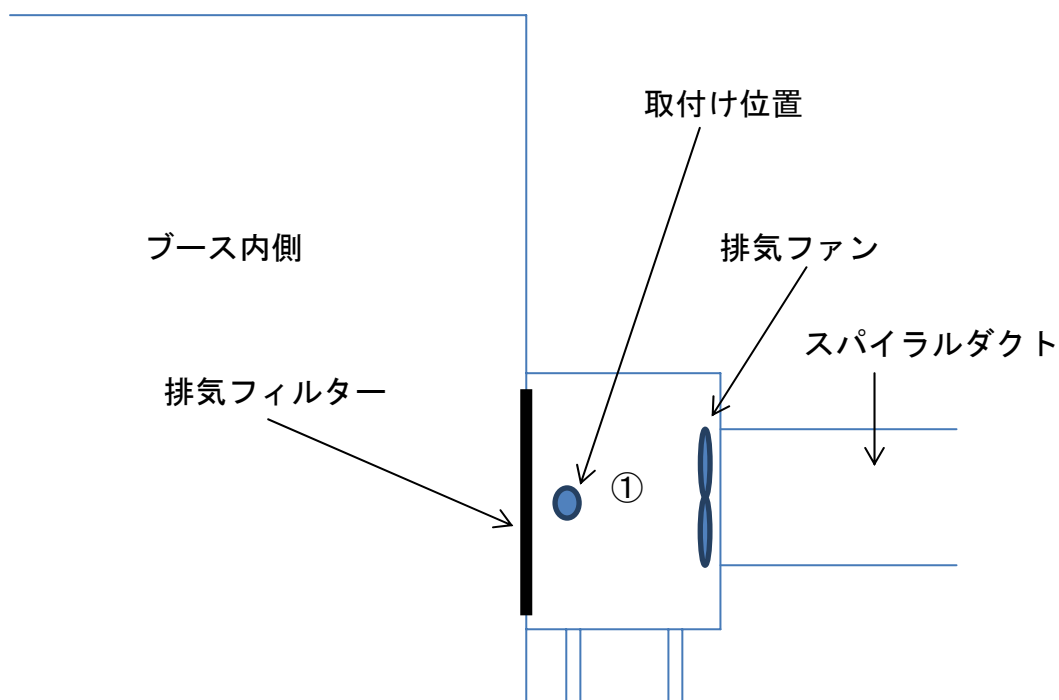
- 7, 全ての項目で OK であれば、これで試運転作業は終わりです。

5,実作業運転

- 1, 塗装ブースをお使いの時は、必ず作動させて下さい。特に塗装時には多量の臭気が発生しますので、排気ファン作動時は必ず作動させて下さい。
- 2, 脱臭剤は 1 週間に 1 度確認点検し、液剤の補充を心掛けて下さい、液剤がなくなる場合があります。

簡易型消臭スプレーシステム

ビニールブースに取付ける場合のポイント



1. 排気ファンBOXの①の場所(排気ファンの中央の高さで、なるべく排気フィルター側に穴をあけます。)に付属のホルソーで穴をあけます。
2. あけた穴に、グロメット(ゴム輪)をはめて下さい。
3. 消臭機本体の空気キャップ部をグロメットの中に入れて、本体のマグネットで取り付け固定します。
4. 本体エア圧力は、ビニールブースの場合、排気ファンが1馬力の場合が多いので、 $0.015\sim 0.02\text{Mp}$ ($0.15\sim 0.2\text{kg}/\text{cm}^2$)程度で使用してください。
5. 噴霧量が多すぎた場合は、ファンBOX内に消臭液が漏れてくる場合があります。その場合は使用圧力を下げて調整して下さい。